

キャラクター名
ナムタル

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	UGN公安自治部隊『ネルガル』副官
	オルクス					
オプション			年齢	14	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	闘争		初期侵食率	32 %
出自	義理の両親		経験	危険な仕事		邂逅 秘密『鎧守靈汪』

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	239
肉体	1	0	0			1	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	2	1	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	射撃	8r+2		69		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
--	P 連帯感	N 不信感		
遺産継承者-Legacy-	P 憧憬	N 不安		
	P 憧憬	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ナーブジャック	1	10(誓約)	メジャー	視界	単体	対決	120	
効果: メジャー行わせる								
虚無への回帰	1	4d10	オート	至近	単体	自動	-	
効果: ダメージ0化								
永劫進化	1		セットアップ	至近	自身	自動		
効果: 原初レベル+1 シナ1								
混色の氾濫	1		メジャー	-	-	シンドローム		
効果: 対象自身以外の原初を範囲選択化								
死神の瞳	5		メジャー	視界	単体	対決		
効果: ダメ+lv+2D増								
紡ぎの魔眼	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: lv個ダイス増								
戦術	5		セットアップ	視界	シーン選択	自動		
効果: R中対象のメジャー判定lvD増加								
力の霊水	3	4	オート	視界	単体	自動	80	
効果: 攻撃時+lvD								
ラストアクション	1		オート	至近	自身	自動	100	
効果: 戦闘不能時再行動								
崩壊のスフィア	3		オート	視界	単体	自動	120	
効果: ダメ+lv×2D シナ1								
熱闘の激励	3		オート	視界	単体	自動	闘争	
効果: ダメ-lv×2D 自適用外 R1								
闘争の渦	1		オート	視界	単体	自動	闘争	
効果: エフェクト使用回数回復 シナ1								
異形への変貌(E)	1		セットアップ	至近	自身	自動		
効果: シーン中侵食ダイスボーナス倍化 シナ1								

「——なるほど、死の悪魔か。それでいて、冥王の右腕……ね。君が居なくてはメスラムタエアの再誕は成り立たないという訳だね」
 「貴方が、私の器。では、選択を——加速による死か、遡行による死か」
 「当然後者だ、俺は彼女にバテてやるつもりはないのよね」

◆嗜好
 好き: 甘味、寛ぐ時間、軽いノリ/八橋、勝利、意趣返し
 嫌い: 虫、他人の自己犠牲、辛臭い時間/辛い物、他人の理解、謂れのない叱責

◆性格
 自由奔放、あっけらかんとした調子で日々を生きている。ついて回る少女の影とはいつも軽口を叩き合っているが、お互い嫌い合っている訳でもないらしい。常々即断即決で物事を考える節があるが、なんだかんだ上手くいく。
 ——『そう出来てる』とは本人談。

姉の存在を大事に大事に扱っていて、今もなおはぐれたその影を探している。

少女の方……【桜花】は尊大な口調で刺々しく言葉尻に噛み付く皮肉屋だが、特にそこまで噛み付いた物事自体に頓着はない。これは、『呪うことこそが本質である』という性質に起因する。嘗ては全てを屠ってみせた妖魔達の王、即ち妖鬼妃と呼ばれる災厄の化身だったと言うが、力の根源たる呪いが絶たれて今の姿で生きるほかないのだそうだ。
 しかして故なきまま強き呪いが生み出される筈もなく、結局のところ口の回る悪戯っ子のような位置に落ち着く。

